

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされる場所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

- 電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

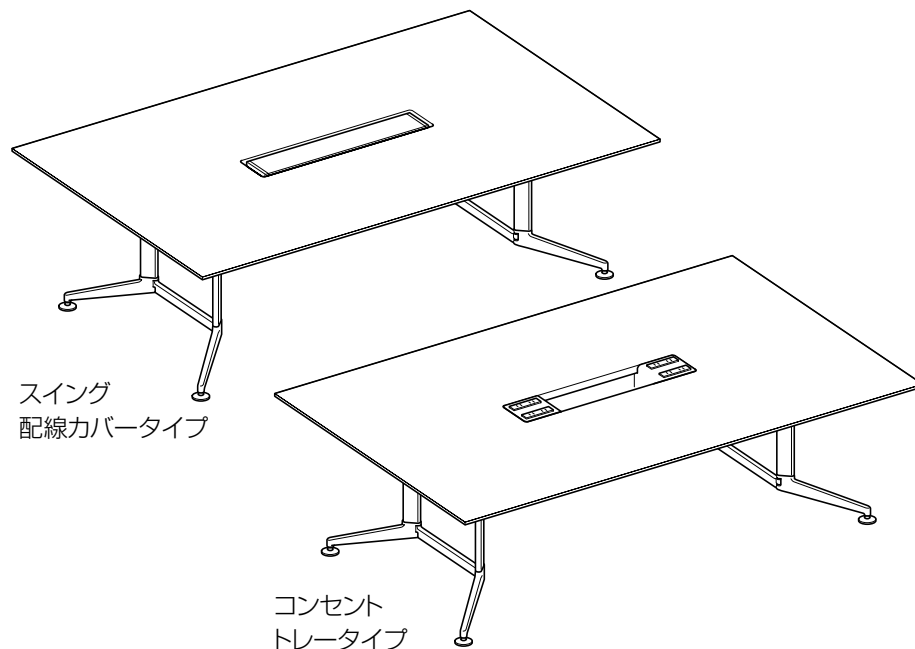
- 1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくはは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(コ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(ク)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさびかびの発生
(ケ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(セ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
(ソ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損
- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

会議用テーブル WT-400シリーズ

- 配線無しタイプ W40-(K/B)M □□□□ (C/P)(M/H/W)
- スイング配線カバータイプ W40-(K/B)W □□□□ (C/P)(M/H/W)
- コンセントトレイタイプ W40-(K/B)P □□□□ (C/P)H



スイング
配線カバータイプ

コンセント
トレイタイプ

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 未永くご使用いただくためのご注意	3
3. 使いかた	4
4. お手入れのしかた	9
5. 部品の交換について	10
6. 仕様	10
7. 組み立てかた	12

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。



1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

●コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。

これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

●お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。

組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

●製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。

・温度・湿度の高い場所では使用しないでください。

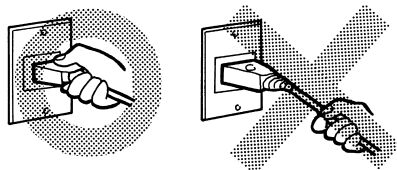
・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

・電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。

・電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。

・コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。

・電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。



・暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。

・コンセントや配線に水がかからないように注意してください。

・コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。

・コードを止め金などで固定して使用しないでください。

・コードをたばねて使用しないでください。

・コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。

・コードを敷物の下にして使用しないでください。

①

・コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。

・コードが傷ついたままで使用しないでください。

・コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。

・お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

・コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。

・コードをワゴンなどで踏み付けしないでください。

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

・この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

・この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

●運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や破損により、けがをする原因になります。

●使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)

けがをする原因になります。

●製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や転落により、けがをする原因になります。

●製品にぶら下がらないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や破損によるけがの原因になります。

●床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。

転倒によるけがの原因になります。

●製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。

転倒によるけが・破損の原因になります。

●アジャスターがある製品を設置する際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。

前傾した状態で設置すると、扉が開いたり、引き出しが流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。

●専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。

落下によるけがや破損の原因になります。

●製品の分解や改造はしないでください。けがや破損の原因になります。

●可動部(配線カバーなど)のすきまに手や指を入れないでください。

けがの原因になります。

●のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。

ものが落下して、けがをするおそれがあります。

②

1.安全上のご注意

- **可動部に注油しないでください。**
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- **コードダクト、コード受けにかばんなどを引っ掛けないでください。**
落下によるけがや破損の原因になります。
- **移動させるときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。**
のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- **製品の分解や改造はしないでください。**
けがや故障の原因になります。
- **ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。**
やけどや火災の原因になります。
- **乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。**
けがや故障・破損の原因になります。
- **ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。
- **溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**
そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- **棚板などが変形した状態で使用しないでください。**
落下や転倒などにより、けがをする原因になります。
- **製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**
誤った使いかたや事故を防止するためのもので、ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。
- **この製品を他の人が使用するとき、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・反り・変色・カビの発生の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
変色や変形・そりなどのおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。
表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。

- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべやかんなどを直接置かないでください。
白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
- 配線カバー、コンセントトレイの上に、重いものをのせないでください。(配線付きタイプ)
落下や破損の原因になります。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくる場合があります。そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- とくどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.使いかた

△注意

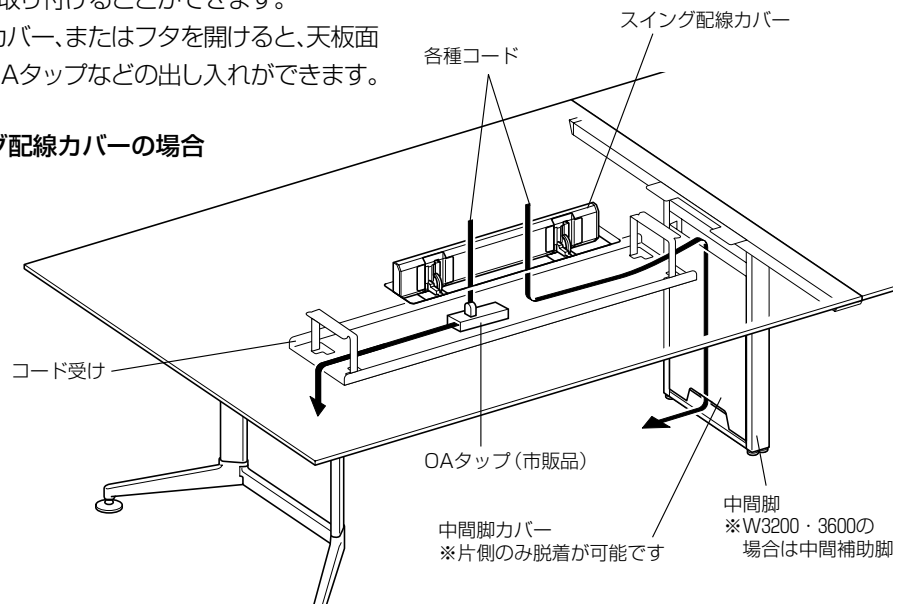
- 本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意して行ってください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせないでください。
転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- 配線カバーを開閉するときは、指や手をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 配線カバーに強い力や衝撃を加えないでください。
破損によるけがの原因になります。
- 移設するときは、オプション類をすべて取り除いてから行ってください。
オプション類が変形・落下して、けがをするおそれがあります。
- 配線している製品を移設するときは、すべての配線を外し、コード類を傷つけないように注意して行ってください。
コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。
- 移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。
引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。

3. 使いかた

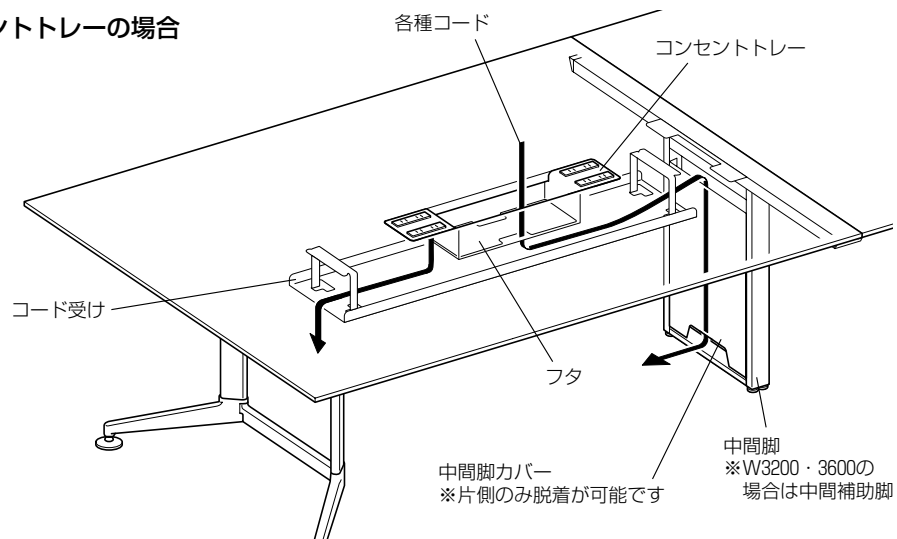
① 配線のしかた

- 各種コードの配線は、図のように行ってください。
- コード受けには、コードホルダー（オプション）を取り付けることができます。
- 配線カバー、またはフタを開けると、天板面からOAタップなどの出し入れができます。

スイング配線カバーの場合



コンセントトレイの場合



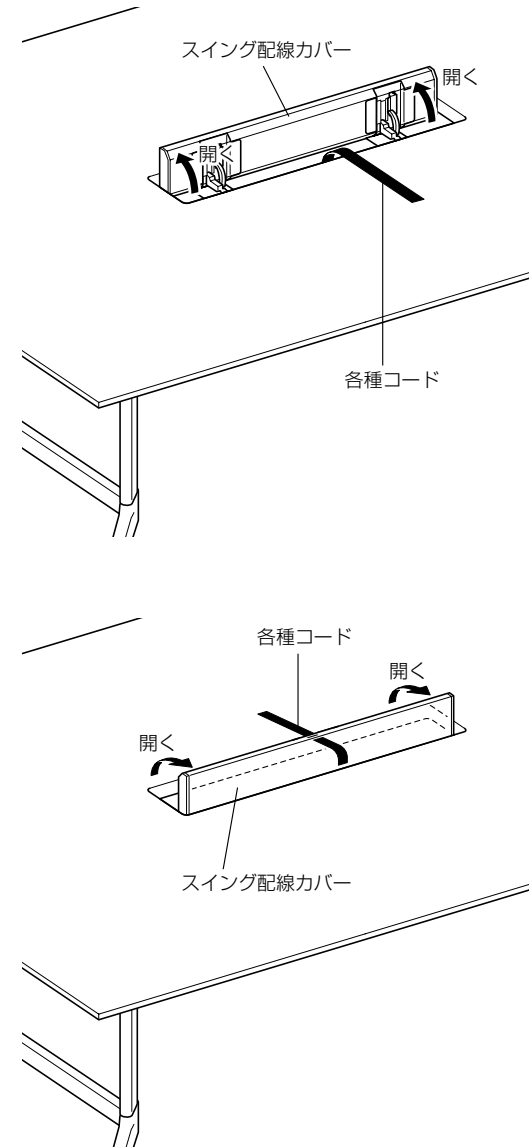
⑤

② スイング配線カバーの使いかた

配線カバーは、どちら側にも開きます。各種コードの配線にご使用ください。

△注意

- 配線カバーを開閉するときは、指や手をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 配線カバーに強い力や衝撃を加えないでください。
破損によるけがの原因になります。



⑥

3. 使いかた

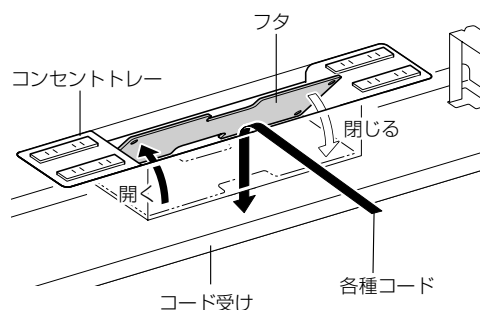
③ コンセントトレーの使いかた

コンセントトレーのフタは開閉したり、取り外すことができます。各種コードの配線や各種機器の設置にご使用ください。

〈フタの開閉のしかた〉

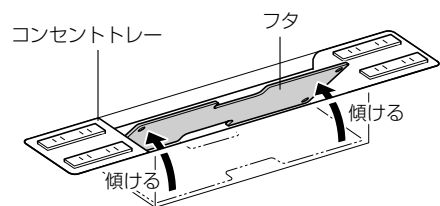
フタを図のように傾けて開閉してください。開いたとき、天板面から各種コードなどの出し入れができます。

※フタは反対側からも開閉できます。



〈フタの取り外しかた〉

フタを図のように傾け、そのままフタを上を持ち上げて取り出してください。



〈フタの取り付けかた〉

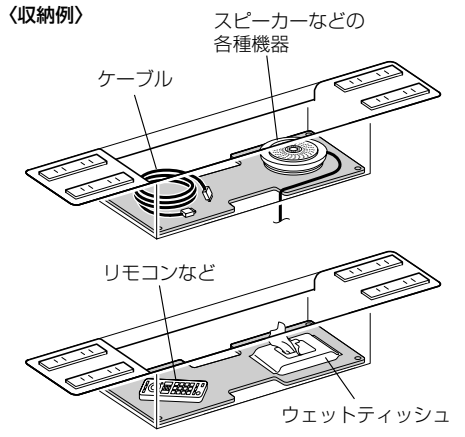
取り外しかたの逆手順でフタをコンセントトレーに取り付けてください。

△注意

- フタを開閉するときは、指や手をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- フタに強い力や衝撃を加えないでください。破損によるけがの原因になります。

フタを閉じた状態のとき、各種機器の設置や小物の収納ができます。

〈収納例〉



④ 2口コンセント(オプション)について

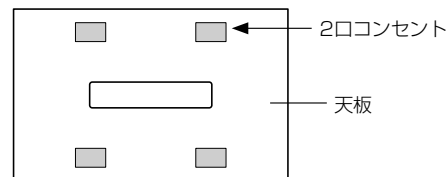
オプション取付金具(別売)を使って、2口コンセント(SDA-NSB200)を天板裏面に取り付けすることができます。

※取付方法は、オプション取付金具(SDAJ-NS10)に同梱の組立説明書をご覧ください。

〈2口コンセントの最大取付個数〉

例：W2400の場合

※図はテーブルを上から見ています。

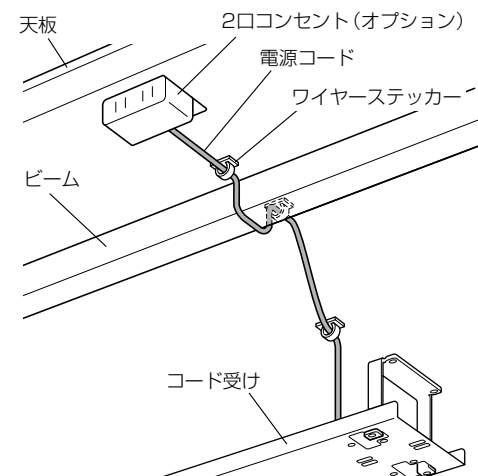
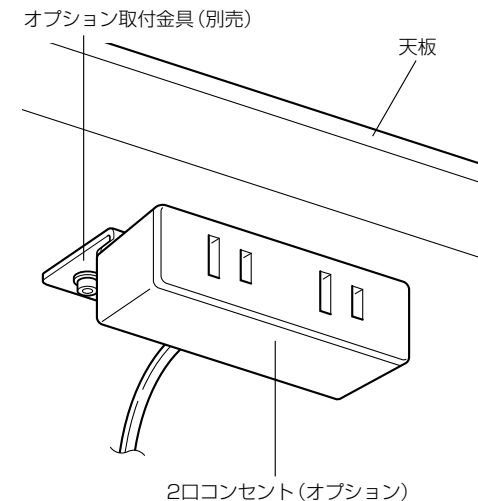
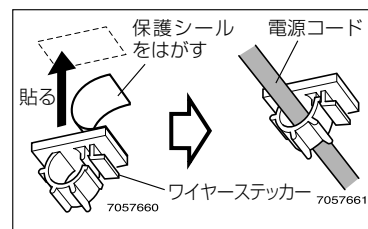


Wサイズ	W1800	W2100・W2400・W3200・W3600	W4000・W4800	W5600	W6400・W7200
2口コンセント最大取付個数	2個	4個	8個	10個	12個

〈2口コンセントの配線例〉

オプション取付金具(別売)には、ワイヤステッカー3個が同梱されています。

ワイヤステッカーを使って、2口コンセントの電源コードを図のように配線することができます。



〈ご注意〉

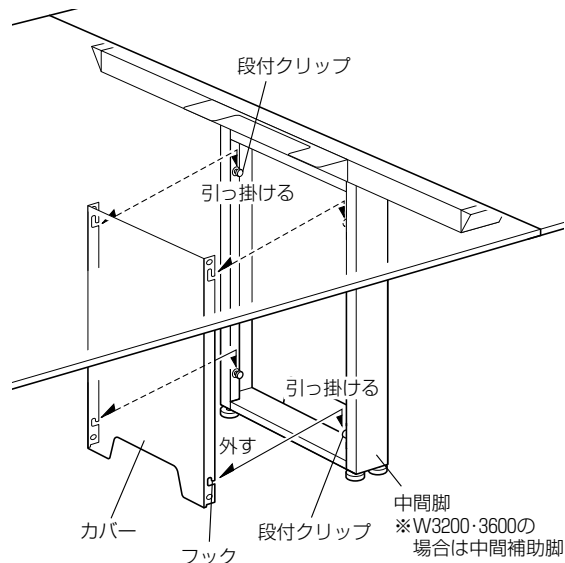
- ワイヤステッカーは、貼り付ける面の汚れを十分に拭きとってからご使用ください。
- 汚れを拭いた布で天板表面を拭くと、変色のおそれがあります。

3.使いかた

⑤ 中間脚カバー・中間補助脚カバーの使いかた (2連・3連タイプのみ)

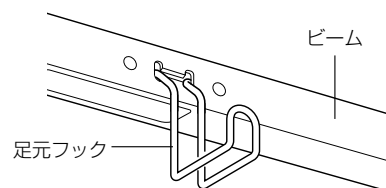
中間脚カバー・中間補助脚カバーは、図のように着脱することができます。

※カバーは、片側のみ着脱可能です。
(組立時に向きは選べます。詳細は⑱、⑳ページをご確認ください。)



⑥ フック(オプション)の使いかた

ビームにフックを、図のように引っ掛けてください。防災用のヘルメットなどを引っ掛けることができます。



4.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■ 消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



5.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

6.仕様

サイズ

品番: W40-(K/B)(M/W/P)	1809	2111	2412	3212	3612	4012	4812	
外寸法 (mm)	幅	1800	2100	2400	3200	3600	4000	4800
	奥行	900	1100	1200				
	高さ	720						

品番: W40-(K/B)(M/W/P)	4015	4815	5615	6415	7215	
外寸法 (mm)	幅	4000	4800	5600	6400	7200
	奥行	1500				
	高さ	720				

6.仕様

素材

タイプ		メラミン天板	
品番	W40-	(K/B)M□□□□(C/P)M	(K/B)W□□□□(C/P)M
素材	天板	表面材：メラミン化粧板、エッジ：樹脂 (ABS)、芯材：パーティクルボード	
	エンド脚	ステー・支柱：スチール (焼付塗装)、脚羽根：アルミダイカスト、アジャスター：樹脂 (ABS)	
	中間脚	本体：スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS)、アジャスター：樹脂 (エラストマー)	
	ビーム	スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS・PP)	
	コード受け	スチール (焼付塗装)	
配線部	-		表面材：メラミン化粧板、エッジ：樹脂 (ABS)、芯材：パーティクルボード、可動部：スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS)
	耐荷重	天板	588N (約60kgf)
	コード受け	49N (約5kgf)	
床傾斜調整範囲 (mm)		18	

タイプ		ハイグレード天板		
品番	W40-	(K/B)M□□□□(C/P)H	(K/B)W□□□□(C/P)H	(K/B)P□□□□(C/P)H
素材	天板	表面材：メラミン化粧板、エッジ：樹脂 (ABS)、芯材：パーティクルボード		
	エンド脚	ステー・支柱：スチール (焼付塗装)、脚羽根：アルミダイカスト、アジャスター：樹脂 (ABS)		
	中間脚	本体：スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS)、アジャスター：樹脂 (エラストマー)		
	ビーム	スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS・PP)		
	コード受け	スチール (焼付塗装)		
配線部	-		表面材：メラミン化粧板、エッジ：樹脂 (ABS)、芯材：パーティクルボード、可動部：スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS)	本体：スチール (焼付塗装) コンセント：樹脂 (ABS・POM)
	耐荷重	天板	588N (約60kgf)	
	コード受け	49N (約5kgf)		
床傾斜調整範囲 (mm)		18		

タイプ		突板天板	
品番	W40-	(K/B)M□□□□(C/P)W	(K/B)W□□□□(C/P)W
素材	天板	表面材：人工突板、エッジ：ポリウレタン塗装仕上げ、芯材：MDF	
	エンド脚	ステー・支柱：スチール (焼付塗装)、脚羽根：アルミダイカスト、アジャスター：樹脂 (ABS)	
	中間脚	本体：スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS)、アジャスター：樹脂 (エラストマー)	
	ビーム	スチール (焼付塗装)・樹脂 (ABS・PP)	
	コード受け	スチール (焼付塗装)	
配線部	-		表面材：人工突板、エッジ：ポリウレタン塗装仕上げ、芯材：MDF、可動部：スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS)
	耐荷重	天板	588N (約60kgf)
	コード受け	49N (約5kgf)	
床傾斜調整範囲 (mm)		18	

△注意

耐荷重(上表の数値)を超えて、ものを置かないで(入れないで)ください。

- ・故障や変形の原因になります。
- ・落下によるけがや破損の原因になります。

7.組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

①構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

タイプ		配線無しタイプ						
品番	W40-□	M1809	M2412	M3212	M4012	M4015	M5615	M6415
梱包品番	部品の種類	M2111		M3612	M4812	M4815		M7215
W40T-	天板	1	1	2	2	4	5	6
	ビーム	2	2	2	4	4	6	6
DT1B-	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	6	8	12	12	16	20
	エンド脚	2	2	2	2	2	2	2
W40F-E	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	16	16	16	16	16	16	16
	六角穴付きボタンボルト M8×45	4	4	4	4	4	4	4
DT1F-WDM0620	中間補助脚	-	-	1	-	-	-	-
	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	-	-	8	-	-	-	-
DT1F-WJM	両面中間脚支柱	-	-	-	1	1	2	2
	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	-	-	-	4	4	8	8
DT1F-WJS	両面中間脚上ステー	-	-	-	1	1	2	2
	六角穴付きボタンボルト M8×20	-	-	-	4	4	8	8
DT1F-AJ10	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	-	-	-	4	4	8	8
	ビーム取付金具 (オス)	-	-	-	2	2	4	4
	ビーム取付金具 (メス)	-	-	-	2	2	4	4
	六角穴付キャップボルト M8×120	-	-	-	2	2	4	4
	平座金 M8用	-	-	-	2	2	4	4
	六角穴付ボタンボルト M8×45	-	-	-	4	4	8	8
DSXJ-TH12	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	-	-	-	4	4	8	8
	六角穴付キャップボルト M6×120	-	-	4	4	12	16	20
	角座金	-	-	4	4	12	16	20
	角ナット	-	-	4	4	12	16	20
	カバー	-	-	4	4	12	16	20
	シムカード (緑) 0.2mm	-	-	4	4	12	16	20
DSXJ-TP1	シムカード (透明) 0.3mm	-	-	4	4	12	16	20
	天板連結プレート	-	-	4	-	8	8	12
	六角穴付平頭ボルト M8×20	-	-	16	-	32	32	48

7.組み立てかた

タイプ		スイング配線カバータイプ					
品番: W40-□		M1809	M2412	M3212	M4012	M4015	M6415
梱包品番	部品の種類	M2111		M3612	M4812	M4815	M7215
W40T-	天板	1	1	2	2	4	5
	配線カバー	1	1	2	2	2	3
W40U-WC1	配線カバーメカユニット	2	2	4	4	4	6
	六角穴付低頭ボルト M6×20	8	8	16	16	16	24
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	12
SDA-XM	コード受け	1	1	2	2	2	3
	吊り金具	2	2	4	4	4	6
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	12
	十字穴付トラスボルト M6×10	4	4	8	8	8	12
	フランジ付袋ナット M6用	4	4	8	8	8	12
DT1B-	ビーム	2	2	2	4	4	6
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	6	8	12	12	16
W40F-E	エンド脚	2	2	2	2	2	2
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	16	16	16	16	16	16
	六角穴付きボタンボルト M8×45	4	4	4	4	4	4
DT1F-WDM0620	中間補助脚	—	—	1	—	—	—
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	8	—	—	—
DT1F-WJM	両面中間脚支柱	—	—	—	1	1	2
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DT1F-WJS	両面中間脚上ステー	—	—	—	1	1	2
	六角穴付ボタンボルト M8×20	—	—	—	4	4	8
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DT1F-AJ10	ビーム取付金具(オス)	—	—	—	2	2	4
	ビーム取付金具(メス)	—	—	—	2	2	4
	六角穴付キャップボルト M8×120	—	—	—	2	2	4
	平座金 M8用	—	—	—	2	2	4
	六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	—	4	4	8
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DSXJ-TH12	六角穴付キャップボルト M6×120	—	—	4	4	12	16
	角座金	—	—	4	4	12	16
	角ナット	—	—	4	4	12	16
	カバー	—	—	4	4	12	16
	シムカード(緑)0.2mm	—	—	4	4	12	16
	シムカード(透明)0.3mm	—	—	4	4	12	16
DSXJ-TP1	天板連結プレート	—	—	4	—	8	8
	六角穴付平頭ボルト M8×20	—	—	16	—	32	32

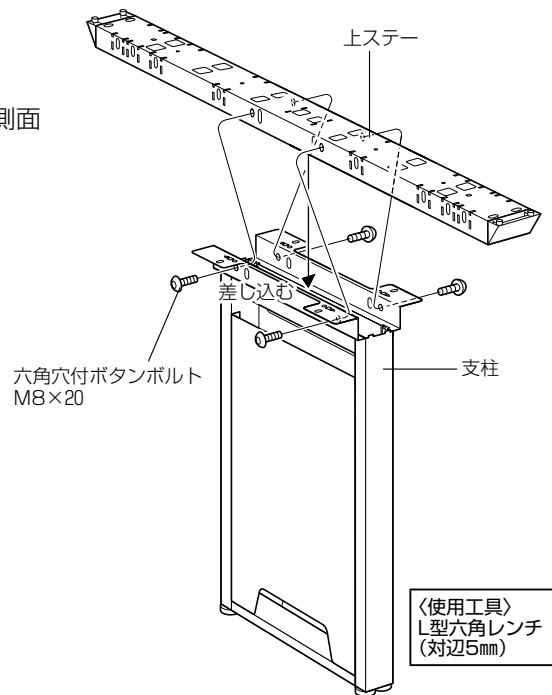
タイプ		コンセントトレイタイプ					
品番: W40-□		M1809	M2412	M3212	M4012	M4015	M6415
梱包品番	部品の種類	M2111		M3612	M4812	M4815	M7215
W40T-	天板	1	1	2	2	4	5
	コンセントトレイユニット	1	1	2	2	2	3
W40U-CT2	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	12
	コード受け	1	1	2	2	2	3
SDA-XM	吊り金具	2	2	4	4	4	6
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	12
	十字穴付トラスボルト M6×10	4	4	8	8	8	12
	フランジ付袋ナット M6用	4	4	8	8	8	12
	ビーム	2	2	2	4	4	6
DT1B-	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	6	8	12	12	16
	エンド脚	2	2	2	2	2	2
W40F-E	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	16	16	16	16	16	16
	六角穴付きボタンボルト M8×45	4	4	4	4	4	4
DT1F-WDM0620	中間補助脚	—	—	1	—	—	—
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	8	—	—	—
DT1F-WJM	両面中間脚支柱	—	—	—	1	1	2
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DT1F-WJS	両面中間脚上ステー	—	—	—	1	1	2
	六角穴付ボタンボルト M8×20	—	—	—	4	4	8
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DT1F-AJ10	ビーム取付金具(オス)	—	—	—	2	2	4
	ビーム取付金具(メス)	—	—	—	2	2	4
	六角穴付キャップボルト M8×120	—	—	—	2	2	4
	平座金 M8用	—	—	—	2	2	4
	六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	—	4	4	8
	六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	—	4	4	8
DSXJ-TH12	六角穴付キャップボルト M6×120	—	—	4	4	12	16
	角座金	—	—	4	4	12	16
	角ナット	—	—	4	4	12	16
	カバー	—	—	4	4	12	16
	シムカード(緑)0.2mm	—	—	4	4	12	16
	シムカード(透明)0.3mm	—	—	4	4	12	16
DSXJ-TP1	天板連結プレート	—	—	4	—	8	8
	六角穴付平頭ボルト M8×20	—	—	16	—	32	32

7.組み立てかた

② 中間脚の組み立て

(W4000以上の場合)

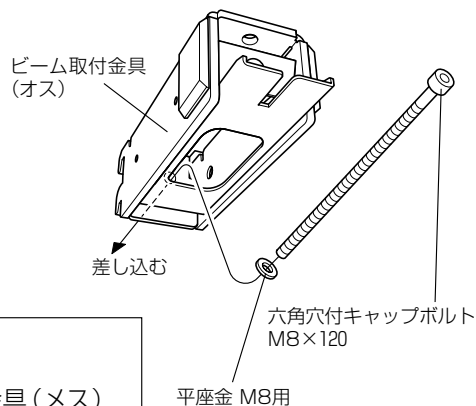
- 1.支柱に上ステーを差し込み、支柱の側面からボルトで本締めしてください。



- 2.ビーム取付金具 (オス) の下側から平座金とボルトを差し込んでください。

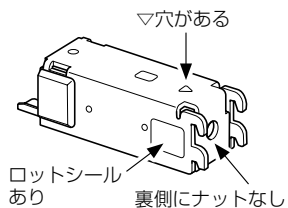
<ご注意>

ビーム取付金具には、オスとメスの2種類があり、ビーム取付金具 (オス) には▽穴が開いています。

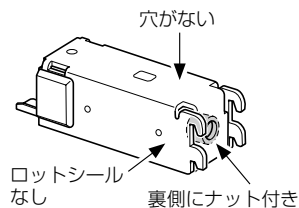


ビーム取付金具の種類

ビーム取付金具 (オス)



ビーム取付金具 (メス)

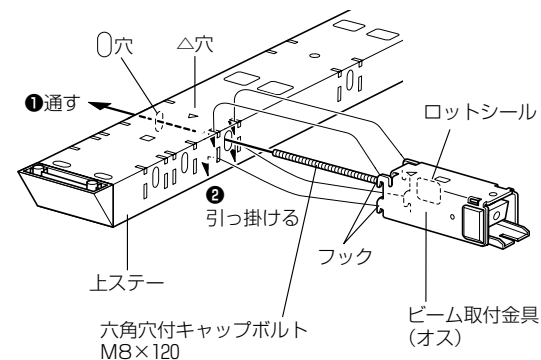


⑮

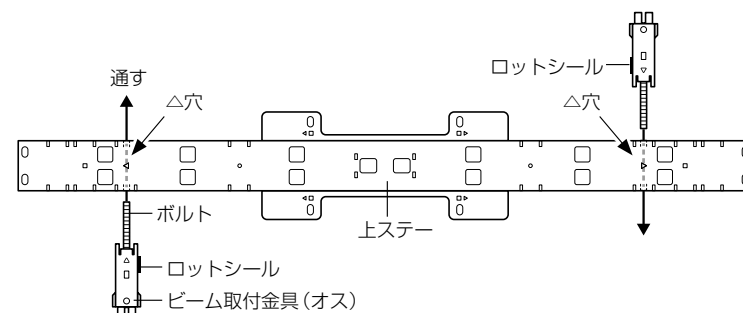
- 3.ビーム取付金具 (オス) に差し込んだボルトを上ステーに差し込み、ビーム取付金具 (オス) のフックを上ステーに引っ掛けてください。

<ご注意>

- 上ステーの上面に△穴が開いている箇所の側面にある○穴に、ボルトを差し込んでください。
- ビーム取付金具 (オス) は、ロットシールが内側になるように取り付けてください。

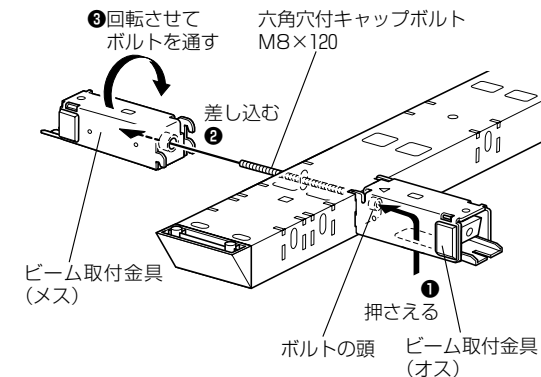


ボルトを差し込む位置 ※ロットシールが内側になるように取り付けてください。



- 4.「3」で貫通させたボルトに、ビーム取付金具 (メス) を差し込み、ビーム取付金具 (メス) を回転させてボルトを通してください。

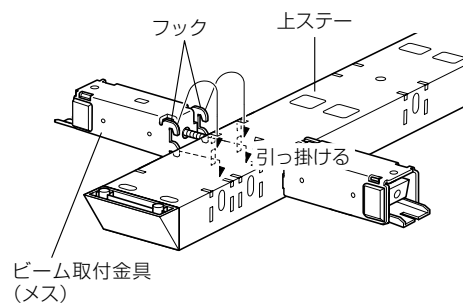
※このとき、ビーム取付金具 (オス) の下側からボルトの頭を押さえてボルトが回らないように固定してください。



⑯

7.組み立てかた

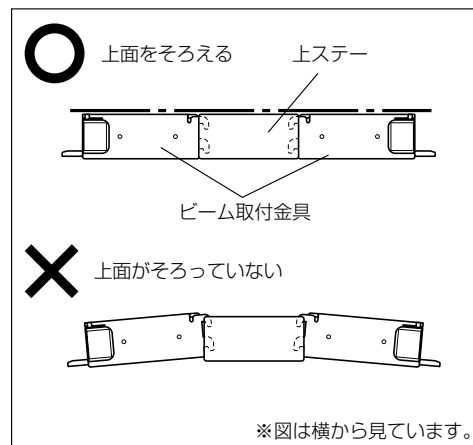
5.ビーム取付金具(メス)を回転させて外れないようになったら、ビーム取付金具(メス)のフックを上ステーに差し込んでください。



6.ビーム取付金具(オス)の下側からボルトを本締めしてください。

〈ご注意〉

ビーム取付金具と上ステーの上面をそろえて固定してください。



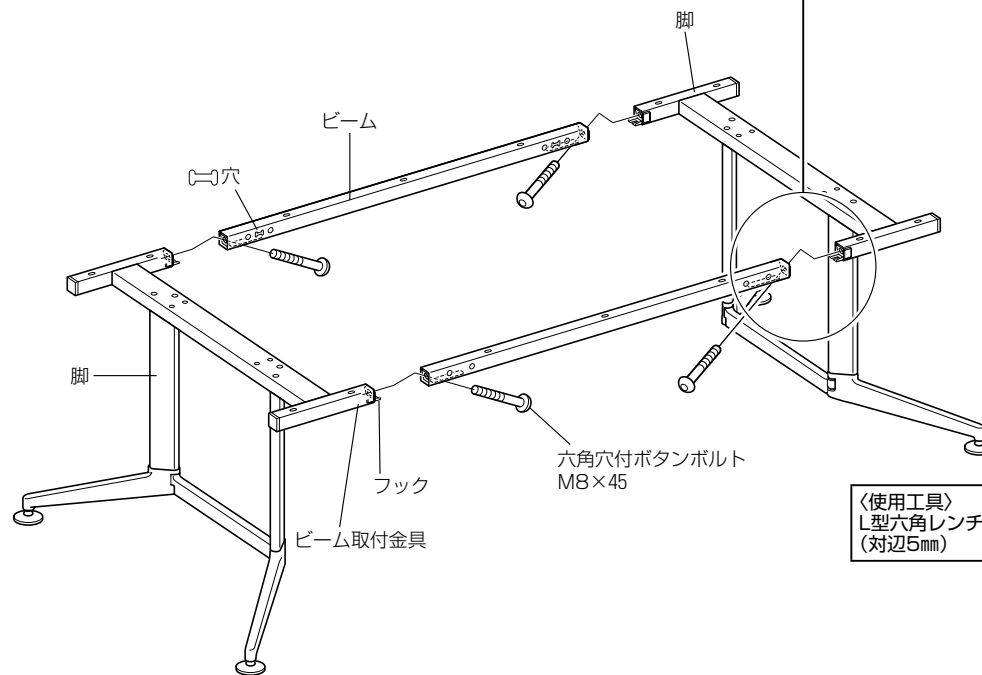
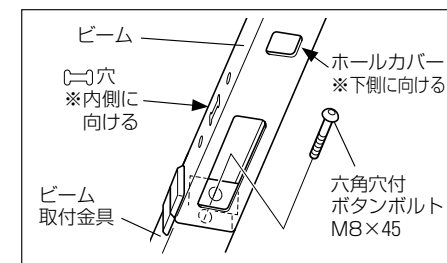
7.「2」～「6」の要領で、残りのビーム取付金具も上ステーに固定してください。

③脚とビームの組み立て

(W3600以下の場合)

脚のビーム取付金具のフックにビームを差し込み、ビームの下側からボルトで本締めしてください。

※ビームは、ホールカバーが下側に、ロットシールと()穴が内側になるように取り付けてください。



7.組み立てかた

4 脚・中間脚とビームの組み立て

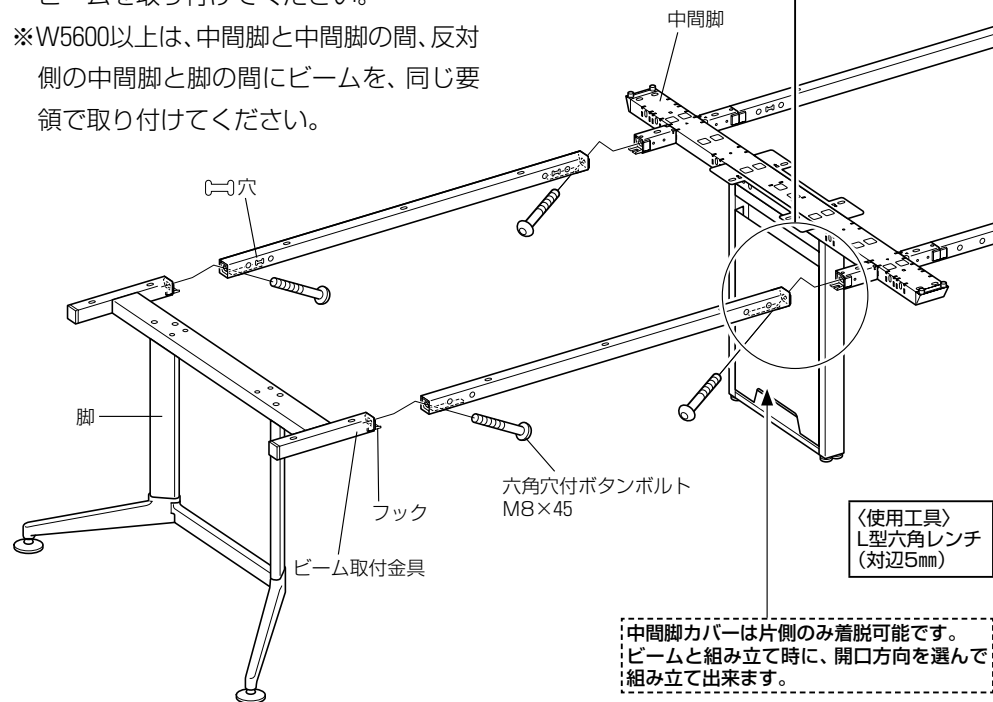
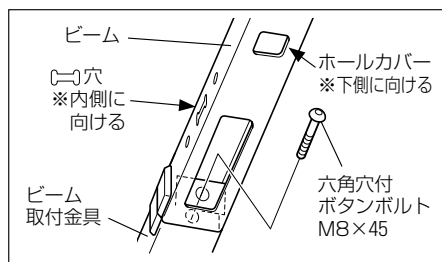
(W4000以上の場合)

脚と②で組み立てた中間脚のビーム取付金具のフックにビームを差し込み、ビームの下側からボルトで端から本締めしてください。

※ビームは、ホールカバーが下側に、ロットシールと()穴が内側になるように取り付けてください。

※W4000～W4800は、反対側も同じ要領でビームを取り付けてください。

※W5600以上は、中間脚と中間脚の間、反対側の中間脚と脚の間にビームを、同じ要領で取り付けてください。



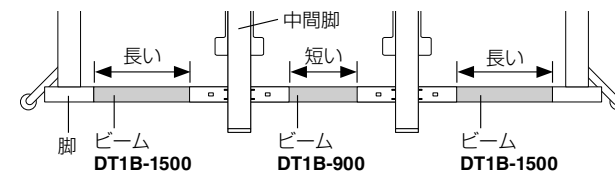
<W5600以上の場合の組み立てのご注意>

W5600以上の場合、2連目のビームの長さが1・3連目と異なります。取付位置については次ページの図を参照して確認してください。

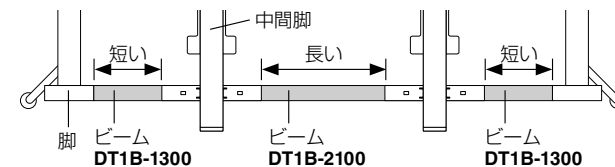
W5600以上の場合の
ビームの組み立て位置

※図は上から見えています。

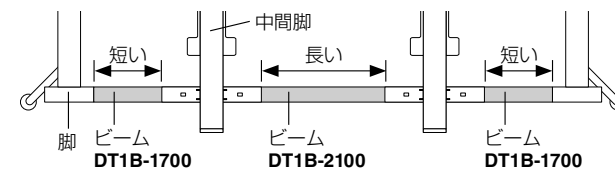
W5600の場合



W6400の場合



W7200の場合

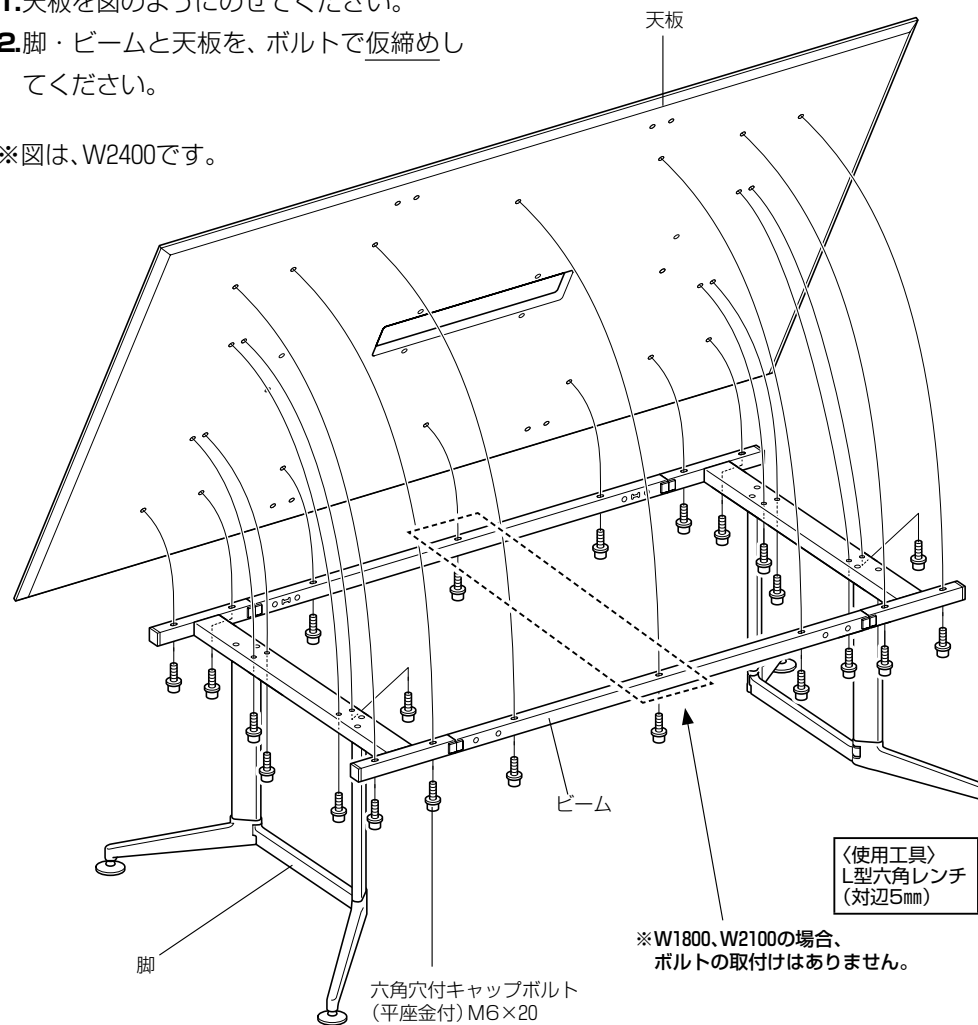


5.天板の取り付け

1.W2400以下の場合

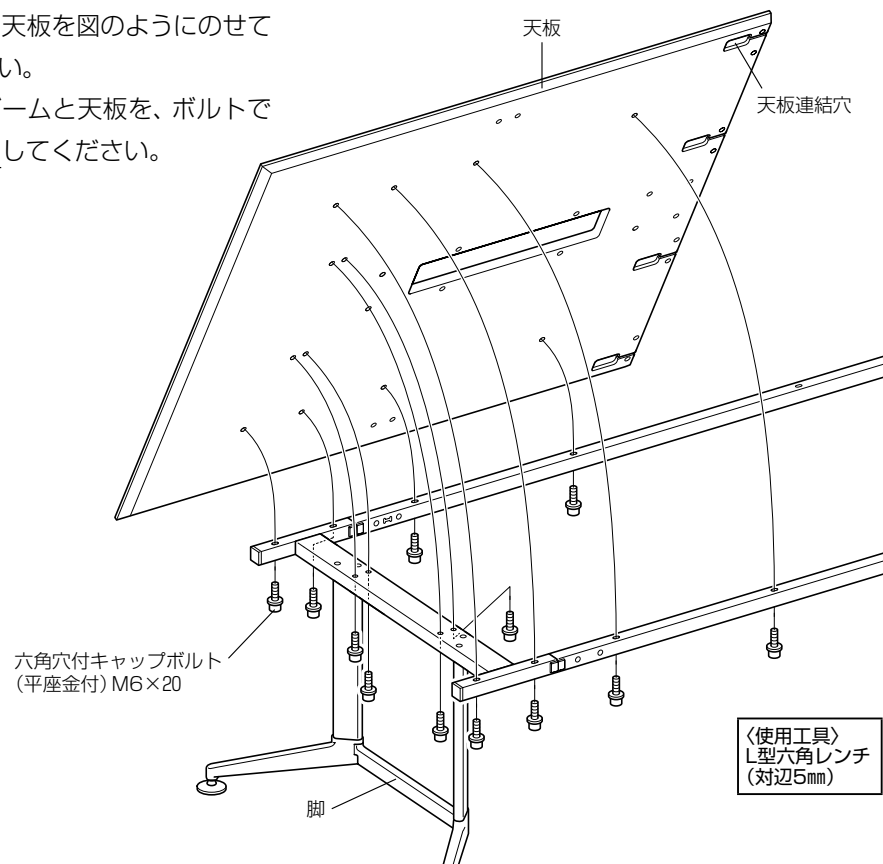
- 1.天板を図のようにのせてください。
- 2.脚・ビームと天板を、ボルトで仮締めしてください。

※図は、W2400です。



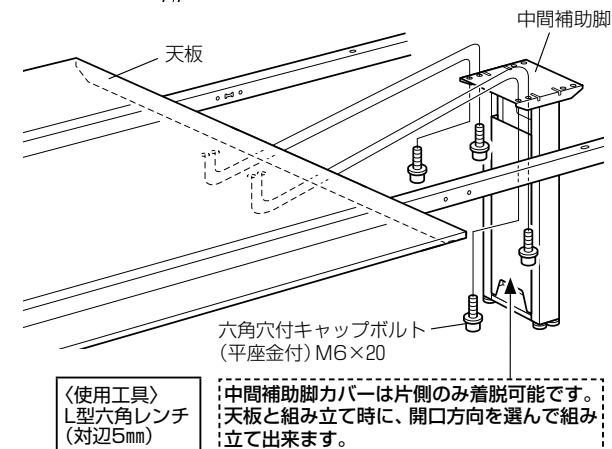
2.W3200・W3600の場合

- 1.片側の天板を図のようにのせてください。
- 2.脚・ビームと天板を、ボルトで仮締めしてください。



- 3.取り付けした天板の下に、中間補助脚を入れてボルトで仮締めしてください。

- 4.「1」と同じ要領で、もう片側の天板のをせ、「2」「3」のように脚・ビーム・中間補助脚に、ボルトで仮締めしてください。



7.組み立てかた

3.W4000以上の場合

1.D1200の場合

②ページの「1」「2」と同じ要領で、脚・ビームと天板(エンド)を、ボルトで仮締めしてください。

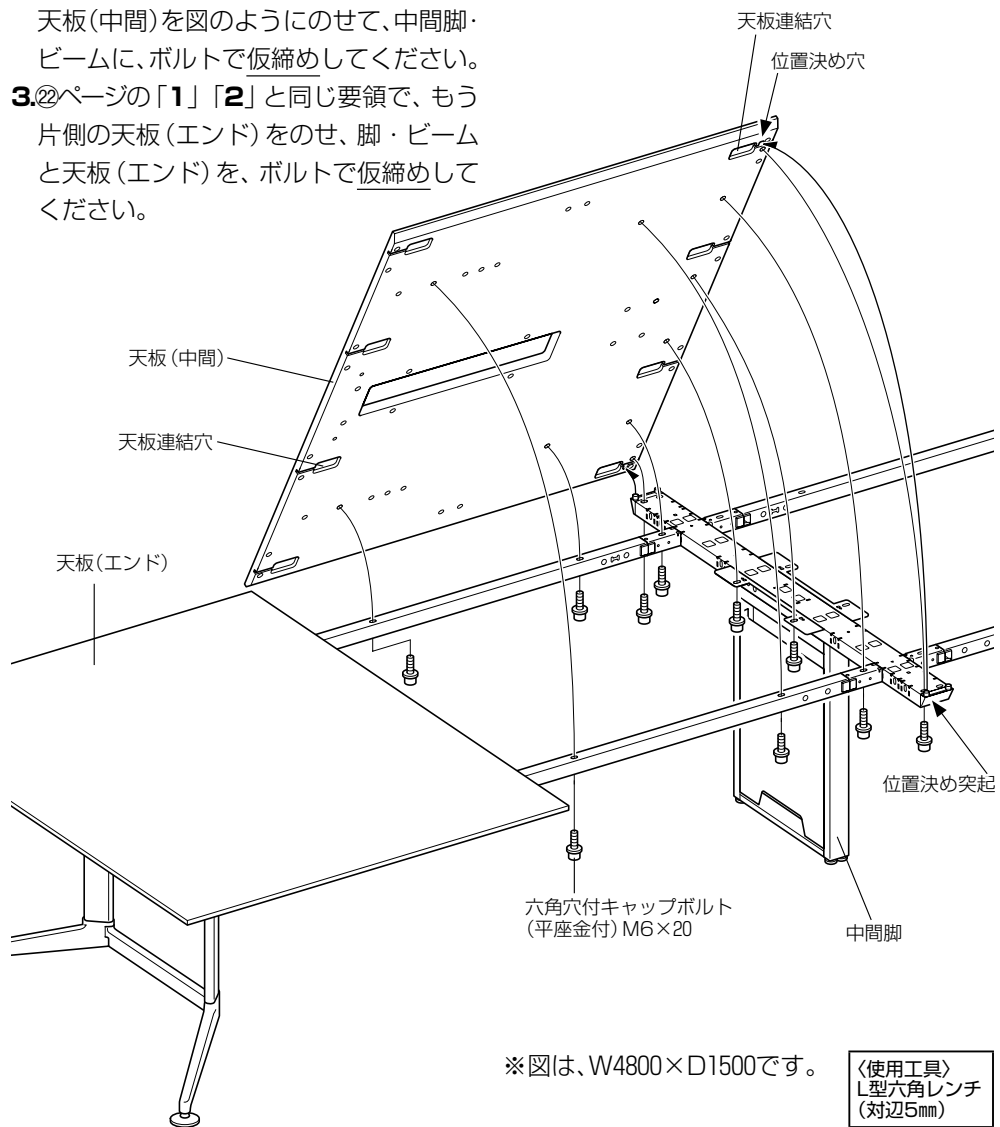
2.D1500の場合

天板(中間)を図のようにのせて、中間脚・ビームに、ボルトで仮締めしてください。

3.②ページの「1」「2」と同じ要領で、もう片側の天板(エンド)をのせ、脚・ビームと天板(エンド)を、ボルトで仮締めしてください。

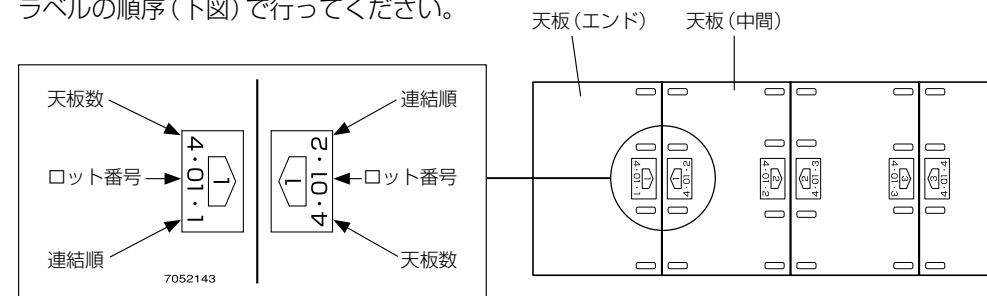
〈組み立てのご注意〉

製品のサイズによって、天板の数量・形状・向き、使用するボルトの数が異なります。次ページの図を参照して確認してください。



突板タイプのラベルについて

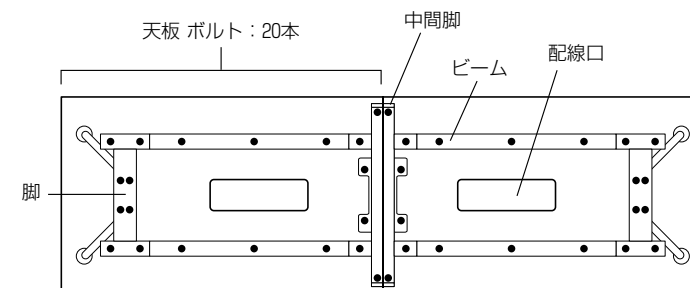
天板の連結順は、天板の裏面に貼ってあるラベルの順序(下図)で行ってください。



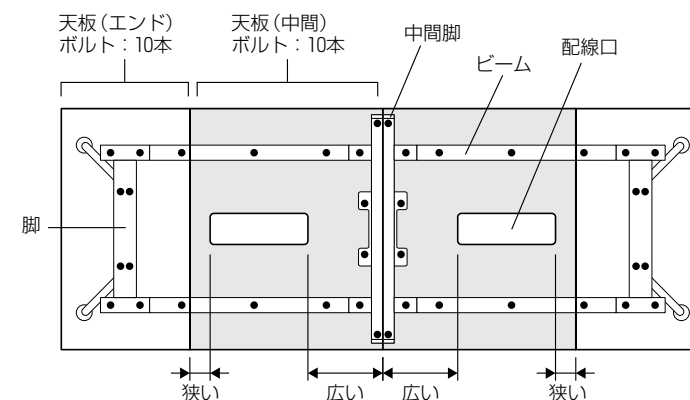
天板の種類・取付位置と使用するボルトの数について

※図は上から見ています。
※●…ボルトで仮締め

W4000×D1200・ W4800×D1200の場合



W4000×D1500・ W4800×D1500の場合

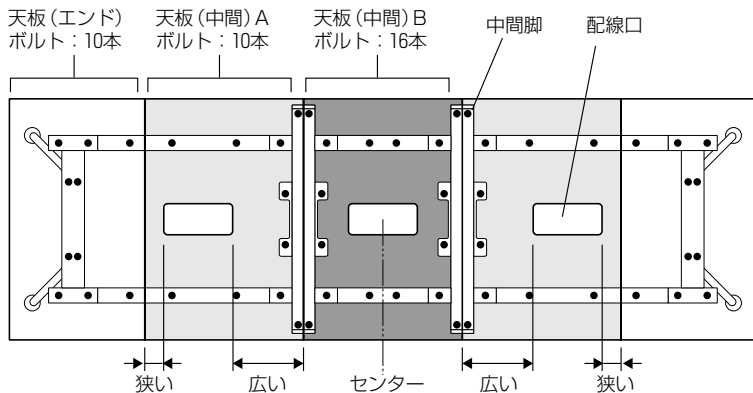


次ページに続く▶

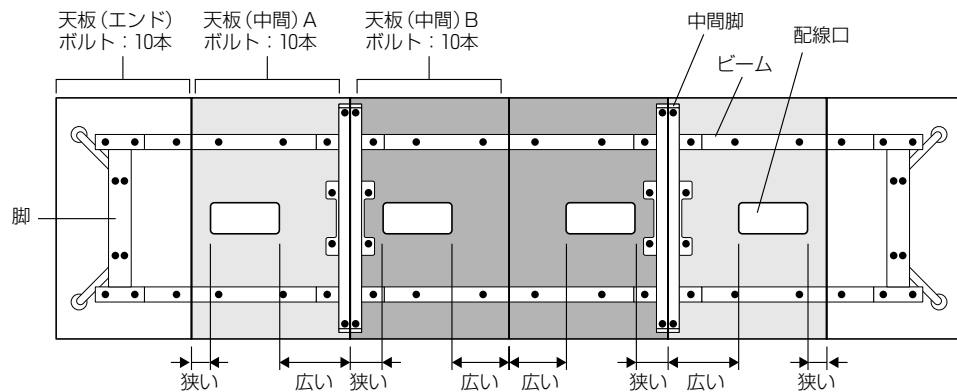
7.組み立てかた

※図は上から見ています。
 ※●…ボルトで仮締め

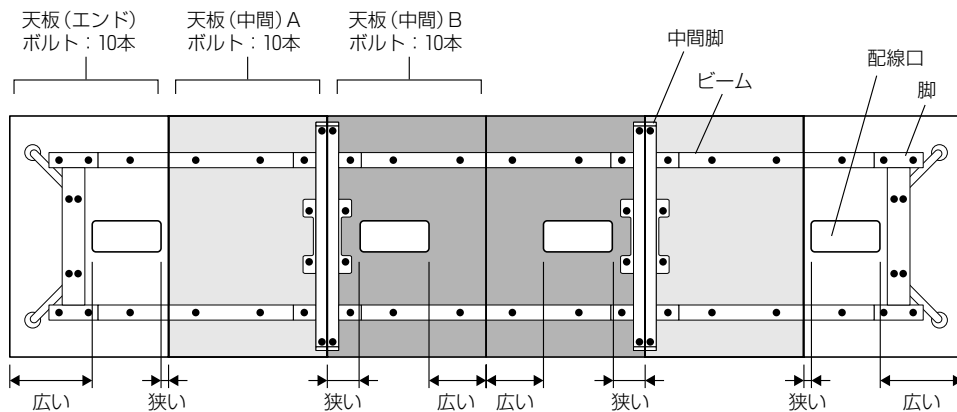
W5600の場合



W6400の場合



W7200の場合



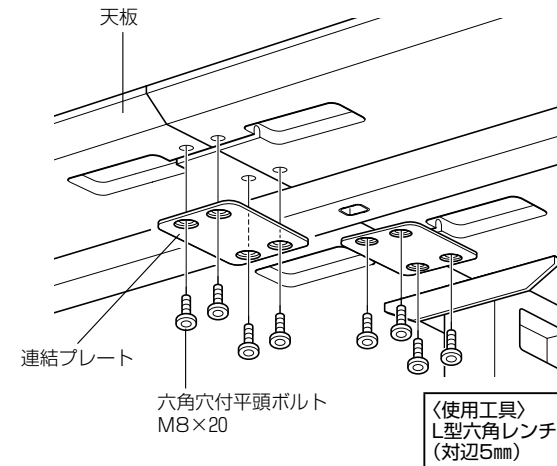
6.天板の連結

(W3200以上の場合)

1.中間補助脚のある連結部分と 中間脚のない連結部分のみ

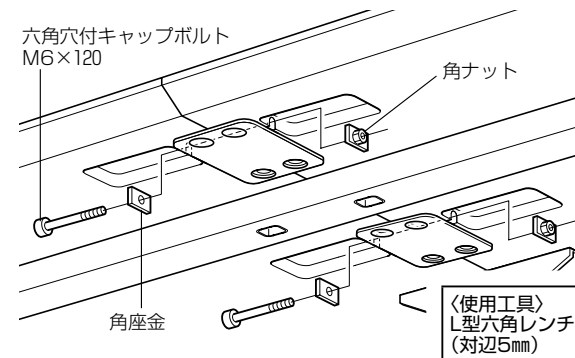
天板と連結プレートをボルトで仮締めしてください。(4カ所)

※各サイズの連結プレート・カバーの取付位置については、次ページの「連結プレート・カバーの取付位置について」をご参照ください。

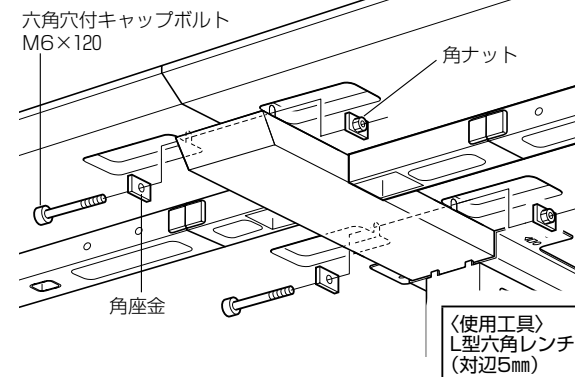


2.天板の前後・上下を合わせ、 引込金具を天板に本締めしてください。

中間補助脚のある連結部分と中間脚のない連結部分



中間脚のある連結部分



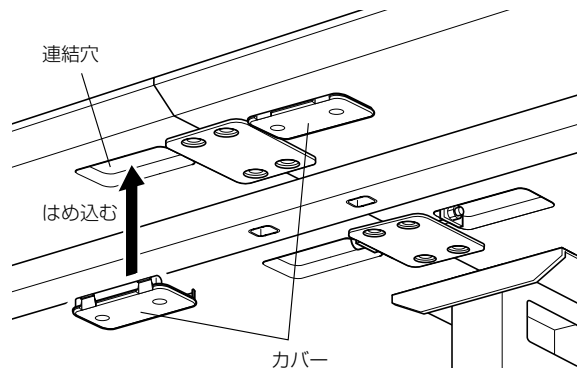
7.組み立てかた

3.中間補助脚のある連結部分と

脚のない連結部分のみ

「1」で仮締めしたボルトを本締めしてください。

※天板の高さがそろわないときは、低い側の天板と連結プレート間にシムカードを入れて、高さ調節をしてください。

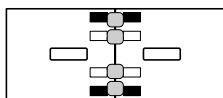


4.カバーを連結穴にはめ込んでください。

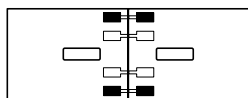
※図はW3200の場合ですが、その他の場合も付けかたは同じです。

連結プレート・カバーの取付位置について ◻…連結プレート ◼…カバーを取付ける連結穴
※図は天板の裏側です。

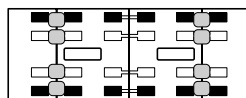
W3200・W3600の場合
連結プレート:4枚 カバー:4枚



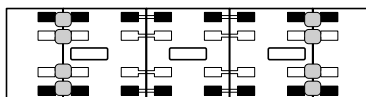
W4000×D1200・
W4800×D1200の場合
連結プレート:0枚 カバー:4枚



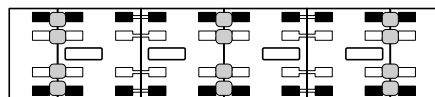
W4000×D1500・
W4800×D1500の場合
連結プレート:8枚 カバー:12枚



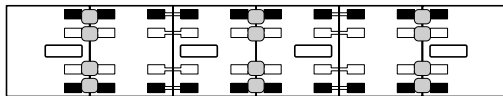
W5600の場合
連結プレート:8枚 カバー:16枚



W6400の場合
連結プレート:12枚 カバー:20枚



W7200の場合
連結プレート:12枚 カバー:20枚



7 レベル調整とボルトの本締め

1.組み立てた本体のレベルを、脚と中間脚(W3200以上)のアジャスターで調整してください。

2.天板のそりを調整しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

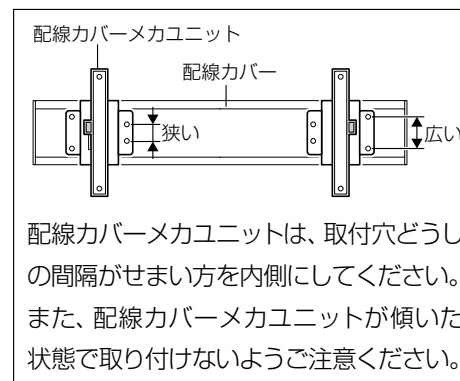
※天板の高さがそろわないときは、低い側の天板と中間脚ステーの間にシムカードを入れて、高さ調節をしてください。

8 スイグ配線カバーの取り付け

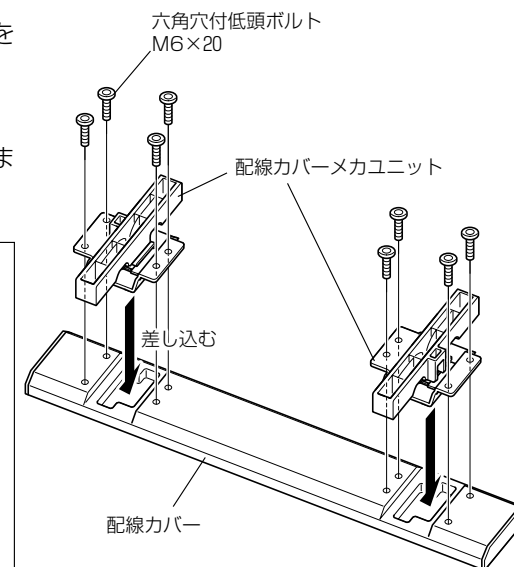
1.配線カバーに配線カバーメカユニットを差し込み、ボルトで本締めしてください。

〈ご注意〉

配線カバーメカユニットには向きがあります。下図のように取り付けてください。



配線カバーメカユニットは、取付穴どうしの間隔がせまい方を内側にしてください。また、配線カバーメカユニットが傾いた状態で取り付けないようにご注意ください。



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺4mm)

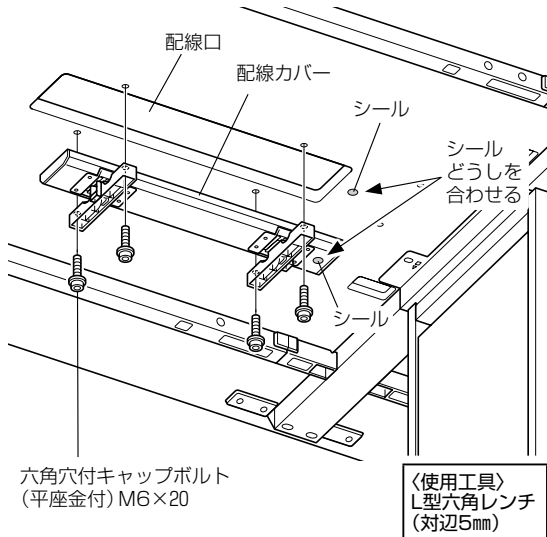
7.組み立てかた

2.配線カバーを天板裏面に、ボルトで本締めしてください。

〈ご注意〉

配線カバーは、天板と配線カバーの裏面に付いているシールどうしを合わせた向きで組み立ててください。

※組み立て後、シールは剥がして廃棄してください。

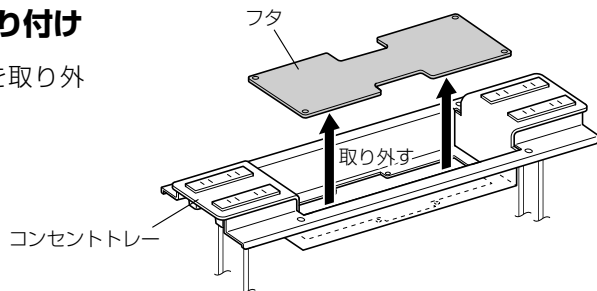


六角穴付キャップボルト
(平座金付) M6×20

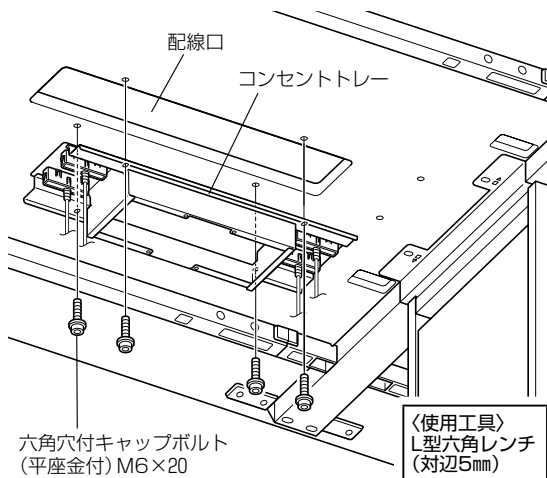
〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

9 コンセントトレイの取り付け

1.コンセントトレイのフタを取り外してください。



2.コンセントトレイを天板裏面に、ボルトで本締めしてください。

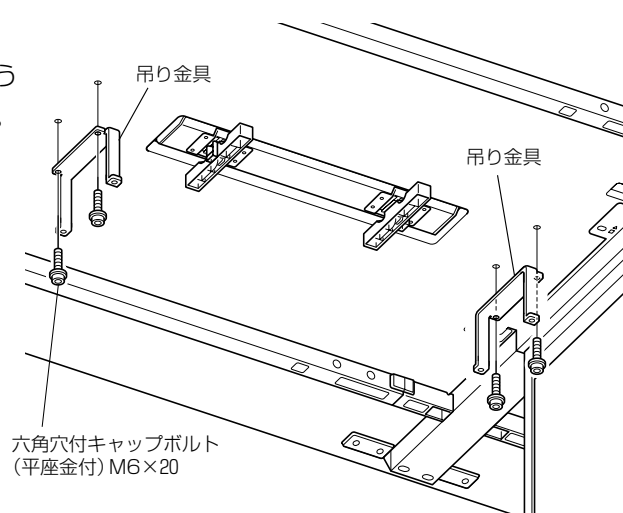


六角穴付キャップボルト
(平座金付) M6×20

〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

10 吊り金具の取り付け

天板裏面に吊り金具を、図のようにボルトで仮締めしてください。



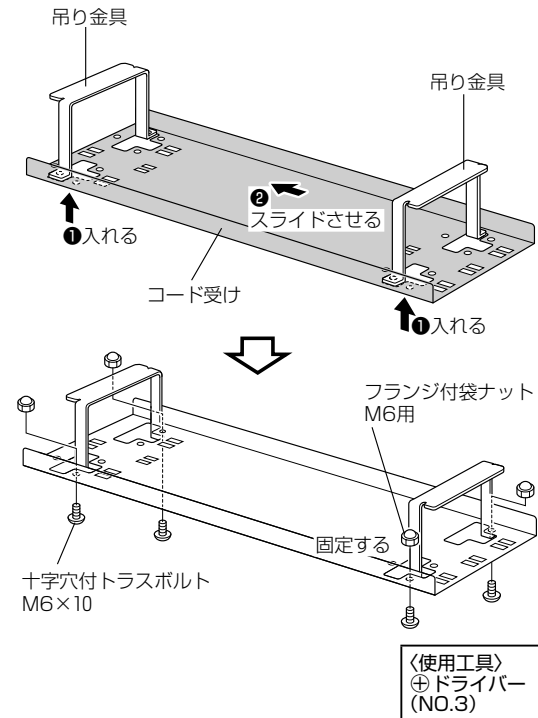
六角穴付キャップボルト
(平座金付) M6×20

〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

11 コード受けの取り付け

1.吊り金具にコード受けを、図のように取り付けてください。

2.吊り金具の仮締めボルトを本締めしてください。



十字穴付トラスボルト
M6×10

〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

以上で、組み立ては完了です。
ガタツキがあるときは、アジャスターで調節してください。